鳥海讃歌

ＧＴＨ通信　第５３号　令和３年１０月１５日（金）
校長室より

校歌に秘めた願い！　原点を知ることは、創造のスタートライン

保護者の皆様、地域の皆様、本校の教育活動に日頃より温かいご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本校の校歌は、昭和３７年に仁賀保高校の生徒と地域の皆様から広く歌詞を募集し、当時の校長先生が作詞されたものです。作曲は、仁賀保高校の音楽の先生であった高野豊昭先生（飛躍保しり徒す。）に依頼し、昭和３８年に完成しました。

高野先生は、仁賀保高校の校歌のほかに、秋田県の高校の校歌を多く作曲されており、秋田県の校歌作曲の第一人者でした。

校歌は、生徒の皆さんが学校生活の中で歌う機会が多いものですが、歌詞の意味を深く考えたことはありますか？

校歌には、学校の歴史や伝統、地域の自然や文化、学校の教育目標や生徒に対する願いなどが込められています。

校歌を通して、自分の学校のことをより深く知り、誇りを持つことができます。

また、校歌は、卒業後も歌い継がれていくものです。

校歌を通して、先輩や後輩とのつながりを感じることができます。

校歌は、学校の宝物です。

校歌を大切にし、歌い継いでいきましょう。

校歌に秘めた願い！　原点を知ることは、創造のスタートライン

保護者の皆様、地域の皆様、本校の教育活動に日頃より温かいご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本校の校歌は、昭和３７年に仁賀保高校の生徒と地域の皆様から広く歌詞を募集し、当時の校長先生が作詞されたものです。作曲は、仁賀保高校の音楽の先生であった高野豊昭先生（飛躍保しり徒す。）に依頼し、昭和３８年に完成しました。

高野先生は、仁賀保高校の校歌のほかに、秋田県の高校の校歌を多く作曲されており、秋田県の校歌作曲の第一人者でした。

校歌は、生徒の皆さんが学校生活の中で歌う機会が多いものですが、歌詞の意味を深く考えたことはありますか？

校歌には、学校の歴史や伝統、地域の自然や文化、学校の教育目標や生徒に対する願いなどが込められています。

校歌を通して、自分の学校のことをより深く知り、誇りを持つことができます。

また、校歌は、卒業後も歌い継がれていくものです。

校歌を通して、先輩や後輩とのつながりを感じることができます。

校歌は、学校の宝物です。

校歌を大切にし、歌い継いでいきましょう。

また、作曲者高野豊昭先生も同誌に、仁高生に向け、「精神のよりどころとしての校歌」と題して苦心談を披露し、エールを送っています。

皆さん、校歌誕生の瞬間を共有し、作詞者・作曲者の願いを継承して、校歌の真髄をかみしめながら、仁賀保高校の未来を牽引してください。

★ **アイコンタクト（ｉｃｏｎ ｔ ａｃｔ３）**を心がけてください。目と目で通じ合い、face to face で向き合いながら、「考えながら行動する」笑顔の素敵な人間たれ！
★ **メモ**をとる習慣は、＝幅広い発想力（持続）です。意識力を育成することで、学ぶ力が増します。
★ **意識力**は、「疑問を持つ」ことから始まります。
★ **ＧＴＨ**は、「自己有用感」と「感謝」と「自己肯定感」を持つことを意識して、学びを活性化しよう！
★ **ＮＰＴ**は、Ｎ（ニューロ）Ｐ（プログラミング）Ｔ（トレーニング）の略称です。Ｎ＝脳神経言語プログラミング
★ 「**自己有用感**」「**感謝**」「**自己肯定感**」を持つことを意識して、学びを活性化しよう！
★ 「**自分事**」「**当事者意識**」を持って取り組む仁高生に変身しましょう！